



たんぽぽだより

2020年 11月 387号

西脇市地域活動支援センター
ワークホーム たんぽぽ
〒677-0025 兵庫県西脇市大野 175
TEL&FAX 0795 (22) 8149
<http://www.eonet.ne.jp/~whtanpopo/index.html>
E-mail whtanpopo@zeus.eonet.ne.jp

秋もいよいよ深まり紅葉のシーズンになってきました。朝晩の冷え込みも厳しくなり体調管理がむずかしいですが、コロナ禍の中いつも以上に気をつけて生活しているので、この冬は風邪もひかず元気に過ごせるといいですね。

今年はたんぽぽのバザーも中止だったので、いつもよりながく感じた10月でしたが、利用者さんは頑張ってお仕事されています。

11月の予定



- 9日(月).....習字
- 12日(木).....運営委員会
- 18日(水).....お茶
- 27日(金).....レクリエーション
- 6日, 13日, 20日(金)・・音楽療法



食事会(テイクアウト)

新型コロナウイルスの感染防止のため、今年の食事会は翠蓮(すいれん)で中華のお弁当をテイクアウトしてたんぽぽで食べました。

楽しみで朝いつもより早く来られたTさんや「おいしー」と何度も言いながら食べていたOさん。何も残らないくらいきれいに食べられたIさん。久しぶりのボリュームたっぷりのお弁当にみんなとてもうれいそうでした。



今読んでいる本の
心に残ったところを紹介!
第2弾



「発達障害の子どもの心と行動がわかる本」

田中康雄監修

大人になってから生活につまずき、障害に気づくこともあります



幼い頃から発達障害の特性に配慮した支援を受けた人のなかには、自分の苦手とする部分を理解し、得意なことや能力を伸ばして研究や芸術の道で才能を発揮する人がいます。しかし、発達障害の特性をもつ人のなかには知的な遅れがなく、周囲や本人も障害に気がつかないまま成人し、社会に出てからさまざまな問題に直面して、大人になってから自分自身に発達障害の特性があるのではないかと思に至る人もいます。病院を訪れる人のなかには、会社員として働くなかで、なぜか相手を怒らせてしまったり、大切な約束を何度も忘れてしまったりして、人間関係や仕事の壁につきあたる人や、結婚して家庭に入り、家事や育児をするなかで、片づけができなかったり、かんしゃくを起こして子どもを怒らせてしまったりして、うまくいかないことに悩む人がいます。自分の特性を知ることで、前向きに社会とかかわれるようになった人もいますが、なかには、自尊心がとても傷つき、引きこもりの状態を続けている人もいます。大人になってとまどわないために、また特性にあう職種に就いたり、生活環境を整えたりするうえでも、早い時期からの周囲の理解と支援はとても大切だといえます。

特性を理解して働き続ける人へ